

有害鳥獣パトロール隊を結成しました



▲パトロール隊の結成・出発式

イノシシをはじめとする有害鳥獣の被害拡大を防ごうと、町ではこのほど「有害鳥獣パトロール隊」を結成し、8月17日、役場久賀庁舎前において出発式を行いました。

同パトロール隊は猟友会の6人で構成され、新たに配備した軽トラックのパトロール車で週2回、被害状況やわなの架設状況・出没地点の確認を見回るほか、出没や目撃情報に対して現場に急行したり、わなを設置したりする活動を行います。出発式で椎木町長は「捕獲・防御・棲み分けなど徹底的な対策が必要。目に見える形で効果が現れてほしい」と期待を寄せ、隊長

の木村栄司猟友会会長も「被害を1件でも減らせるよう努力する」と抱負を述べました。

周防大島町では平成28年度の有害鳥獣による農業被害額は約2670万円に上り、そのうち約1800万円がイノシシによるもの。捕獲頭数も同年度だけで2243頭に上っています。

町では本年4月に農林課に有害鳥獣対策班を設置し、体制を強化して防護柵の補助や捕獲も引き続き実施しています。また、昨年度はモデル的な取組として、人とイノシシの棲み分けを狙い久保河内地区において、防護柵で居住地域への直接侵入を防ぐ事業が実施されました。



▲棲み分けを狙い設置された防護柵 (久賀・久保河内地区)

■有害鳥獣に関する情報・相談は引き続き農林課 ☎0820 (79) 1002まで

農地利用最適化推進委員が設置されました

平成28年度の法改正により、農業委員会は、農地の利用集積、遊休農地対策、新規参入の促進など、農地の利用の最適化の推進に取り組む体制を強化するため、熱意と識見を有する人のうちから農地利用最適化推進委員を委嘱することになりました。

8月1日には、各地区の候補者21人に委嘱状の交付を行い、農業委員と共に管内すべての農地の利用状況調査に取り組んでいます。

地域農業の相談活動も随時行っていますので、農地の困りごとがありましたら農業委員会や地区の農地利用最適化推進委員へご連絡ください。

地区名	氏名
久賀地区	福田俊勝、松田 博、秋山 實
棕野地区	濱田友二
三蒲地区	岡原 豊、岡村淳史
小松地区	河村常和
屋代地区	河杉龍二、松本康男
沖浦地区	河元秀雄、河久保武史
安下庄地区	國次康彦、山本和男
秋地区	東谷邦夫
日良居地区	船井輝雄、山田吉之
白木地区	山本専人、青木長久
森野地区	中口 進
和田地区	石崎宇授彦
油田地区	中本一由

(敬称略)

耕作を放棄した農地等の管理について

↳適正な管理をお願いします

近年、農業の担い手の減少や高齢化による労働力の減少などにより、耕作放棄地や不作付地などのいわゆる遊休農地が増加し、セイタカアワダチソウや防風林等の雑草木が繁茂した土地が多く見受けられます。

特に、周辺に耕作中の農地や住宅地がある場合は、病害虫の発生・ゴミの不法投棄・交通の妨げなど、農作物や周辺住民の生活に悪影響が及ぶことになり、周辺環境に対する配慮が必要です。

所有者・管理者の方におきましては、周辺農地や住民の方に迷惑が及ばないように、雑草木等の除草・伐採(陰切り)など適正な管理を行っていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ

周防大島町農業委員会 (農林課内)

☎0820 (79) 1002